



四日市羽津医療センター地域医療連携室広報

すずらん通信



Vol.93(2025.1)

当院透析センターを紹介いたします

【透析センターの紹介】

当院の透析センターは、ベッド数30床を有し、月水金は午前と夜間の2クール、火木土は午前みの1クールで維持透析を実施しています。現在、当院では70～75名程の患者さんが血液透析をされています。通院患者さんの平均年齢は68.5歳です。月水金の夜間透析には、仕事をされている患者さんが通われています。私たちは、透析を受けながら家庭、もしくは社会での役割を担った方々をサポートしています。医師・看護師・臨床工学技士が協働しながら「安全で安楽な透析療法」を目指しています。

また、当院は地域の透析導入病院としての役割を担っています。通常1～2週間の入院で血液透析を導入し、透析導入後は対象患者さんの条件にあった施設を紹介しています。送迎の有無や自宅・職場との距離、透析通院の負担が少しでも軽減されるよう考慮し対応しています。

【看護体制】

透析センターには、看護師が12名在籍しています。固定チームナースング制をとっており、2チームで構成されています。対象である慢性疾患の患者さんに対して継続した看護を提供できるよう努めています。近年では高齢で透析導入するケースも増え、透析患者さんの高齢化が問題となっています。当院も例外ではなくADLが低下し介助が必要な患者さんが増えているため、統一した「自己管理日誌」を用いて日々の状況を把握できるように努めています。

看護師は、一人ひとりの生活に目を向け、患者さんの「透析ライフをともに考えサポートできるパートナー」でありたいと考えています。

【腹膜透析（PD）】

腹膜透析外来は、火曜日に予約制で行っています。現在、患者数は10名程です。

腹膜透析については、あらかじめ担当看護師を決めて導入前から関わることで信頼関係を築き、カテーテル挿入・腹膜透析導入が円滑に進むよう外来・病棟と連携しています。腹膜透析は、透析環境が自宅となるため、患者さんが不安なく腹膜透析が行えるように整える必要があります。当院では、担当看護師が導入期間中・退院後に自宅を訪問し、透析環境を確認した上でアドバイスさせていただいています。また、高齢者や家族のサポートが得られない場合や手技に不安がある方には、訪問看護ステーションとも連携しているため、継続したサポートが得られます。腹膜透析導入後、安定すれば1回/月の通院となります。

【腎不全看護相談】

2018年度より立ち上げた腎不全看護相談では、末期腎不全の状態に陥った患者さんに対し、SDM（共同意思決定）を用いて腎代替療法説明を行っています。患者・家族の想いを聴き、腎代替療法の情報を提供し、治療法を選択していただきます。今後の人生の過ごし方に大きく影響する選択となるため、各治療法を選択した場合の生活の変化を患者の生活パターンに合わせて説明します。患者・家族が、何を大事にして今後の人生をどう過ごすかを一緒に考え、自分で選択することをサポートしています。

【フットケア】

足には加齢や慢性疾患に伴って様々なトラブルが生じてきます。疼痛による歩行困難や、病変の重篤化による下肢切断が起りえます。足を守ることは健康寿命の延伸や介護予防に直結します。透析患者さんは、基礎疾患が糖尿病であることも多く、血管の障害や動脈硬化が進行している状態であり、抹消動脈疾患（PAD）を併発していることが多くあります。

透析センターでは、定期的に足の状態をアセスメントし必要時ケアを実施しています。セルフケアが困難でリスクの高い患者さんについては、糖尿病センターと連携しています。

【バスキュラーアクセス（VA）外来】

2018年度より火曜日の午後と水曜日の午前中にVA外来を開設し、透析内シャントの作製・修復等、VA管理に特化した診療を行っています。また、緊急のVAトラブル対応に関しましては平日夜間問わず応需率100%を目指しています。

近隣のサテライトクリニックとの連携を強化し、ニーズに合った治療を提供したいと考えています。VA関連でお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

透析スタッフ



透析室



四日市羽津医療センター 地域医療連携室 すずらん

〒510-0016 四日市市羽津山町10-8 病院代表TEL：059-331-2000

すずらん直通TEL：059-331-6003 すずらん直通FAX：059-331-6004

